

平成22年度学校経営計画

1 学校の現状

学校番号	22	学校名	県立水戸農業高等学校				課程	全日制・定時制			校長名	小島重直				
教頭名	森嶋栄治			青砥武夫			入野洋一			事務室長名	平根栄一					
教職員数	教諭	60	養護教諭	2	常勤講師	10	非常勤講師	7	実習講師・実習助手	25	事務職員	7	技術職員等	25	計	141
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計ラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	農業科	35	5	30	5	33	1			98	11	3				
	畜産科	19	21	19	21	18	22			56	64	3				
	園芸科	15	21	18	21	16	20			49	62	3				
	生活科学科	1	39	6	32	1	36			8	107	3				
	農業土木科	38	0	38	0	38	0			114	0	3				
	食品化学科	19	22	11	26	13	26			43	74	3				
	農業経済科	28	8	27	12	30	7			85	27	3				
定時制農業科	27	10	21	6	20	5	13	2	81	23	4					

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> <li>・知・徳・体を身に付けた社会に有為な人材を育成する学校</li> <li>・生徒一人一人の進路希望の実現を支援する学校</li> <li>・魅力ある農業教育を実践し、将来の農業経営者・関連産業技術者を育成する学校</li> <li>・体験学習・国際交流等を通して、コミュニケーション能力を磨くことができる学校</li> <li>・地域社会の関係機関・団体・住民等と連携するとともに、それらに開かれた学校</li> </ul>
---

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習活動	・将来に対し明確な目標を持つ生徒と持たない生徒の学習意欲の差が著しい。	・わかりやすい授業を心がけ、授業への積極的な参加を促す。
進路指導	・生徒の多様な進路希望に対応できる指導体制が確立されていない。	・1年次から系統的な進路指導体制の確立を図る。
生徒指導	・望ましい職業観・労働観が身に付いていない生徒が見られる。	・LHR等あらゆる機会を利用して、進路情報を適切に提供する。
特別活動	・農業教育の特性を生かした進路指導が十分に展開できていない。	・インターシップ等、職業体験活動の参加数を高め、望ましい職業観・労働観の育成に努める。
農業教育	・社会マナーの遵守意識が不十分であり、校則を守れない生徒がみられる。	・道徳教育を中心に、各教科指導を行う中で、規範意識を高め、規則を守れるようにする。
	・部の活動加入率が低い。	・生徒会活動や農業クラブ活動を活発にし、魅力ある学校行事を実施する。
	・部の低下がみられる。	・部活動紹介や見学会等を実施し部活動加入を促す。
	・農業への興味・関心の低い生徒がみられる。	・体験学習の充実と農業クラブの各種発表会、競技会への参加人数を増やし、活性化に努める。
	・農業クラブ活動、体験学習への参加意欲がやや乏しい。	・資格取得を奨励し、学習意欲の向上を図る。
		・全国産業教育フェア茨城大会の成功を期する。

#### 4 中期的目標

1	学習活動に意欲を保持した上で、めく、特色ある本校施設を十分に活かした教育課程を編成すると共に、体験活動
2	から基礎動本意欲を保持した上で、めく、特色ある本校施設を十分に活かした教育課程を編成すると共に、体験活動
3	入試、推薦入学説明会の充実を図る。積極的・実践的、体験的
4	ボランテイヤ自身が野の
5	進す。

#### 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・ 基本的生活習慣の確立	・ 挨拶の励行や身だしなみを整えるなど、基本的生活習慣を確立させる。 ・ 規則正しい生活を通して、時間を大切にするなど、規律ある生活習慣を身に付けさせる。
・ 基礎学力の向上	・ 道徳教育や農業教育等を通して、豊かな人間性や素直な心を育む。 ・ ボランテイヤ活動等への積極的な参加を通して、思いやりの心を育む。 ・ 授業時間を大切にし、授業研究を怠らず、授業の質的向上を図る。 ・ 学力差のある生徒に対する学習指導の在り方についての研究授業や公開授業に積極的に取り組む。 ・ 自ら学習に取り組む習慣を育成する。
・ 系統的な進路指導と指導体制の確立	・ 生徒の進路希望に沿った自己実現のために適切な支援を行い、100%の進路実現を目指す。
・ 特別活動の活性化	・ 運動部・文化部等の加入率50%を目指し、魅力ある部活動を展開する。 ・ 成達会等の自主的活動を推進する。
・ 健康と安全教育の充実	・ 健康と安全管理、交通安全、機械や農薬事故等の防止など、安全教育の充実を図る。
・ 農業教育の充実	・ 特色ある学校づくり支援事業の取組を推進することで、農業後継者の育成を図る。 ・ 全国農業高等学校デグシヨシブラン「エコロジカル・アグリハイスクール」に基づいた行動と実践を行い、その検証と評価を行う。 ① 基本的な農業技術能力を持つ人材を育成する。 ② 食の安全・安心教育を推進する。 ③ 奉仕体験活動を積極的に推進する。 ④ 環境教育を推進する。 ⑤ 開かれた学校を目指し、農業教育普及活動を展開する。
	・ プロジェクト学習や各種発表会・競技会等に積極的に取り組ませることに より、農業クラブ活動の充実を図る。
	・ 全国産業教育フェア茨城大会の準備・運営を通して、農業教育の活性化を図る。
	・ 資格取得試験の合格率の向上を図る。